

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者さんに対して親しみを込めた呼び方をしているが、ちゃん付けであったりご家族やホーム外の方が違和感を感じる呼び方であるように思われる。また馴れ合いとも取られる話し方が気になる。	利用者さんに対して、親しみのなかにも年長者であり人生経験豊富な先輩という尊敬の思いが伝わるような言葉掛けや呼び方をすることで、尊厳を持ってその人らしく暮らす事ができる。	今まで親しみを込めて「ちゃん」を付けて呼ばせていただいていた利用者さんに対して「さん」と呼び方を変える。また友達に話すような馴れ合いとも取れる話し方から尊敬の思いが伝わる話し方にしていく。	1ヶ月
2	29	日頃より地域の方にはホームの行事や運営推進会議などで協力を頂いているが、日常のホームでの生活の中でもボランティア的な参加がもっとあれば有り難い。	大きな行事ではなく喫茶店やお花見、カラオケなどの近所への外出時に付き添いの形で参加して頂き、利用者さんと世間話などをしていただき交流をもっていただく。	運営推進会議や老人会のサロンで、ホームの行事予定をお知らせし、参加して頂ける自治会の方や老人会の方を募る。リスクのあることはお願いせずに、見守りや話し相手をして頂くことで不安感を持たずに参加して頂けるようにする。	3ヶ月
3	3	現時点ではホームから地域に発信していくことは無く、地域の行事などに参加することでグループホームや認知症の方を理解して頂いているが、事業所として地域へ出かけて行くことも考えていくべきではないか。	認知症の利用者さんを専門に介護している施設として、地域の方に認知症を理解して頂き、認知症でも尊厳を持って生活できるように伝えたり、家族の負担を減らす方法をアドバイスできる場を作っていく。	地域の公民館やコミュニティセンターで開催される認知症サポーター養成講座や介護の勉強会などに、地域包括支援センターと協力しながら参加し、情報を提供したりホームの様子を紹介したりする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。